



No. 7.

チュニジア国  
地図作成事業  
総合報告書

昭和63年2月

国際協力事業団

開一  
J R  
88-016



チュニジア国  
地図作成事業  
総合報告書

JICA LIBRARY



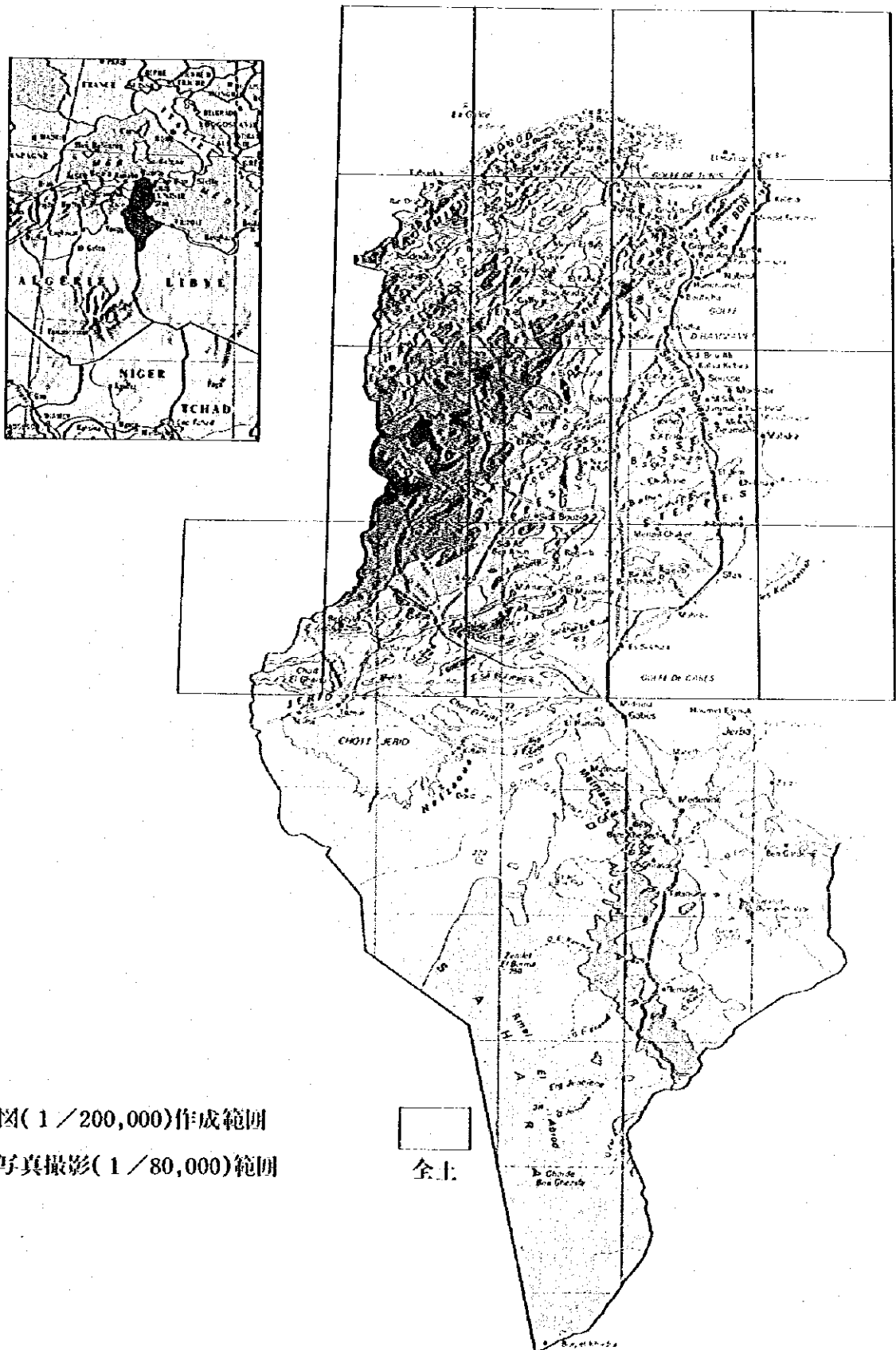
1065461E4J

昭和63年2月

国際協力事業団

17629

# チュニジア国地図作成プロジェクト位置図



地形図(1/200,000)作成範囲  
空中写真撮影(1/80,000)範囲

全土



## 序 文

チュニジア共和国政府の要請に基づき、日本政府は同国の地図作成事業（対象面積約83,000km<sup>2</sup>）を行うことを決定し、国際協力事業団がこれを実施した。

国際協力事業団は、1986年6月から1987年2月にわたり、社団法人国際建設技術協会 斎藤 祥氏を団長とする調査団を現地に派遣し、現地測量を実施した他、空中三角測量、図化、編集、製図、印刷等の国内作業の後、同国の20万分の1地図を完成するとともに総合報告書を取りまとめた。

本報告書および地図が、今後、チュニジア共和国の国土の開発、整備の基礎資料として充分活用され、かつ、このような技術協力が両国の友好親善に役立つことを願うものである。

最後に、本件事業の実施に当たり調査団に対し、ご協力、ご援助いただいたチュニジア共和国政府、特に住宅設備省の関係者ならびに日本側関係者に心より感謝の意を表明するものである。

1988年2月

国際協力事業団

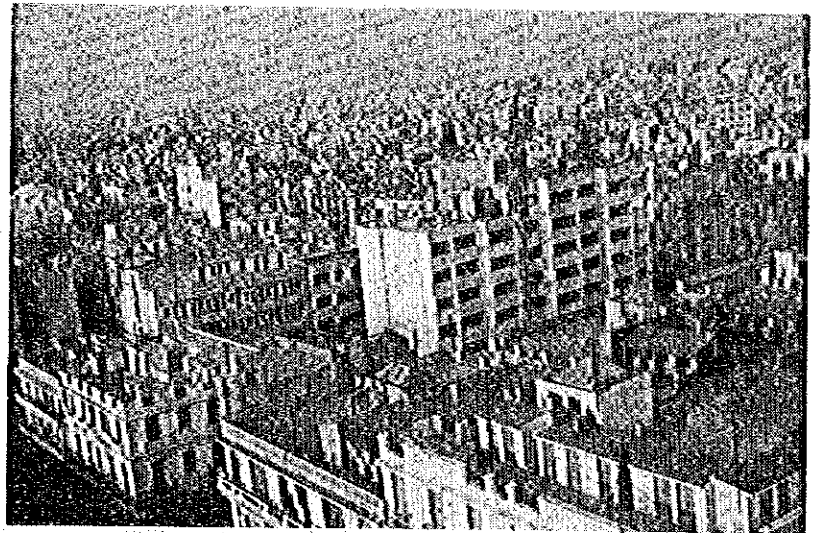
総裁 柳 谷 謙 介



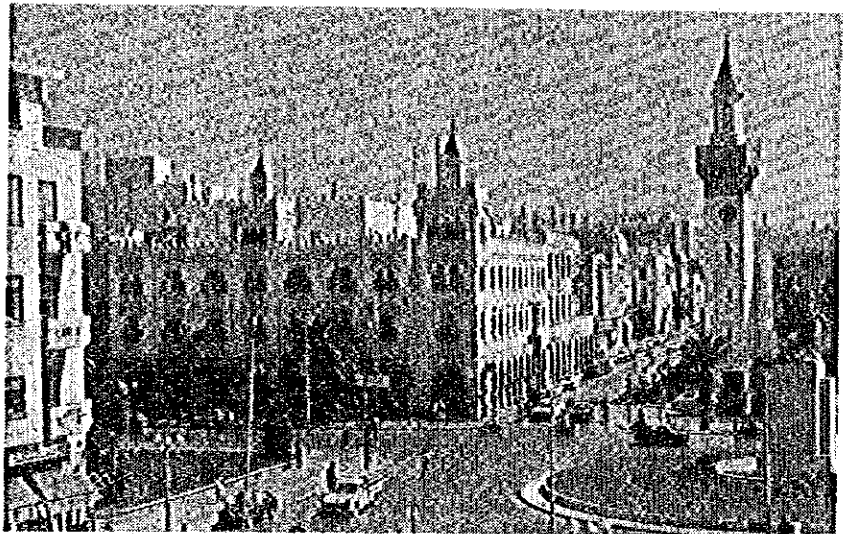


(1) 調査地域の状況 - (1)

1) 首都チュニス市の市街



2) スファックス市の市街



3) 農村集落



(2) 調査地域の状況 - (2)

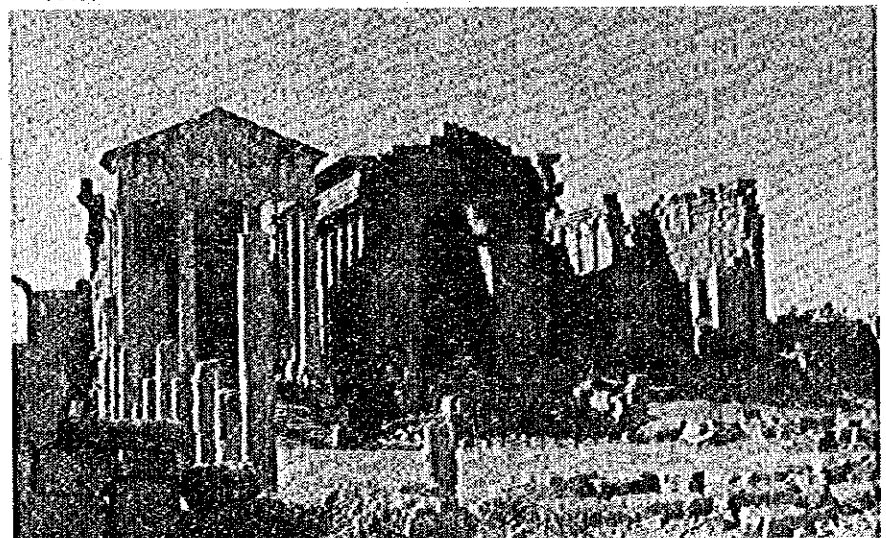
1) 各地で栽培されている  
オリーブ畑



2) カップボーン岬のブドウ畑

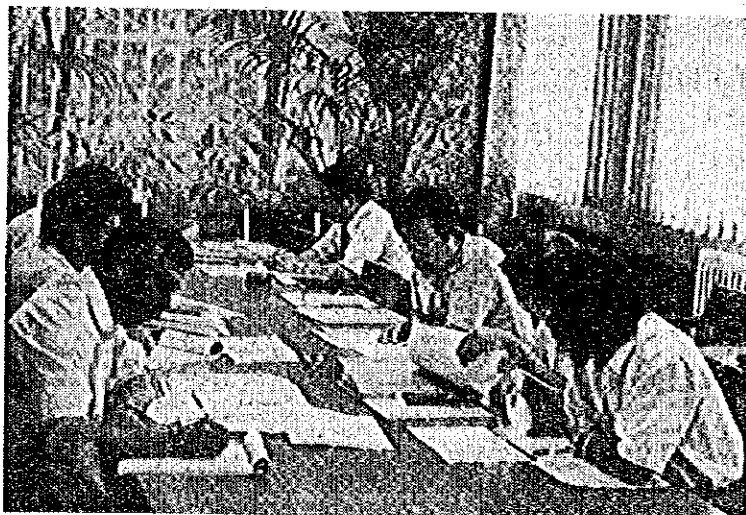


3) 各地に分布するローマ時代の  
遺跡の1つ、スベイトラの神殿



1. JICA調査団とチュニジア国側との協議

1) 住宅設備省における  
調査の打ち合せ



2) 作業の打ち合せ



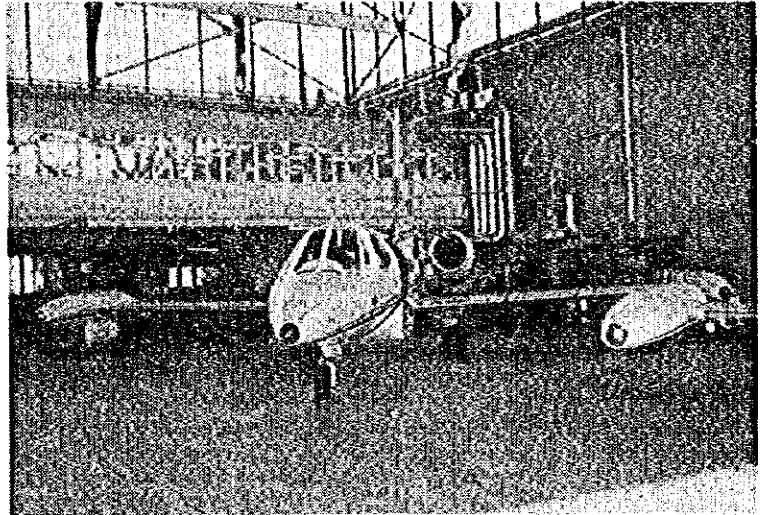
3) 議事録の署名



## 2. 空中写真撮影

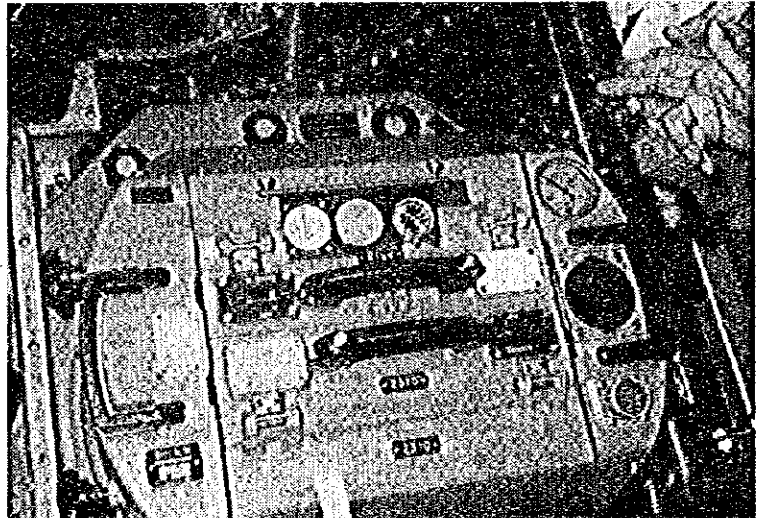
### 1) 撮影用航空機

LEAR JET LR 35 A



### 2) 航空カメラ

Wild RC-10



### 3) 撮影した空中写真の検査

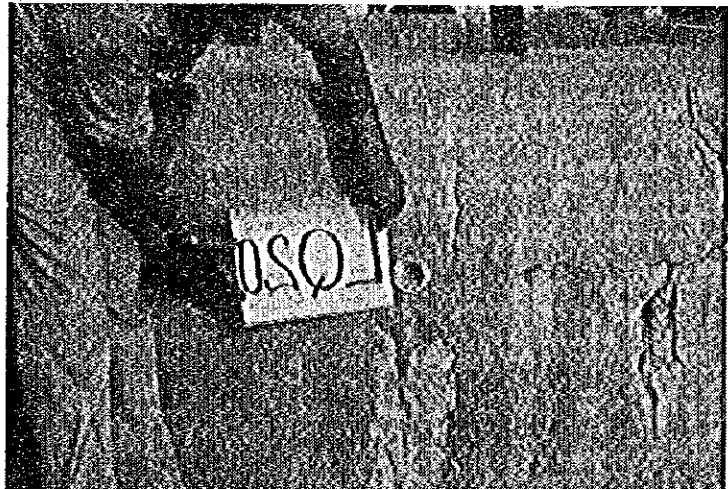


3. 基準点の刺針と標定点測量

1) 三角点



2) 水準点

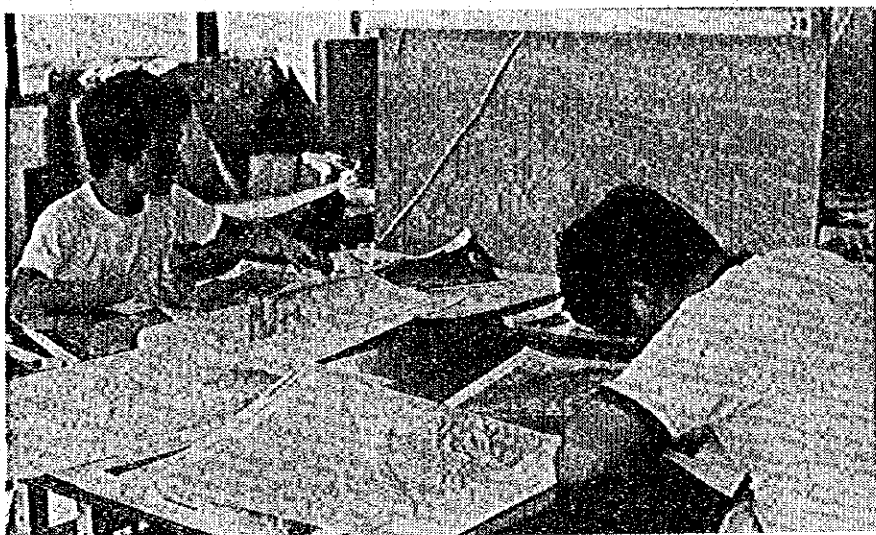


3) 標定点の新設



4. 現地調査

1) 空中準備作業



2) OTCカウンターパート  
による地名の調査



3) 現地調査

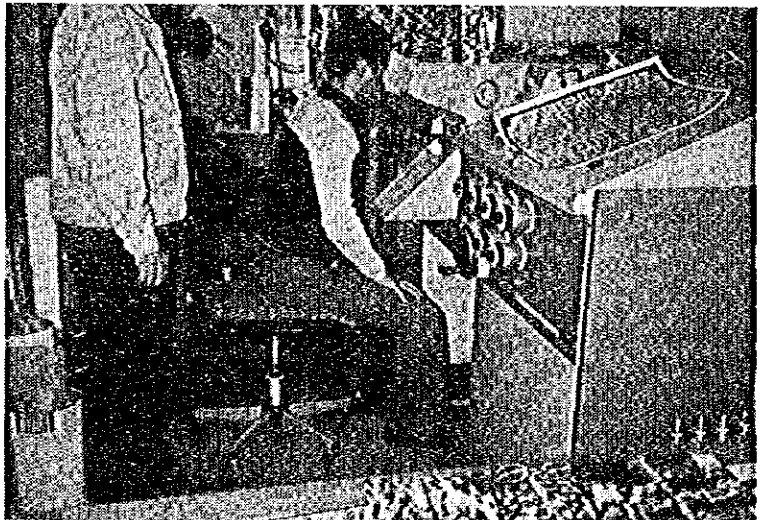


(7) 空中三角測量、図化、編集

1) ステコメーターによる  
写真座標の測定



2) メトログラフによる  
図化



3) 図化素図から1:200,000  
図の編集



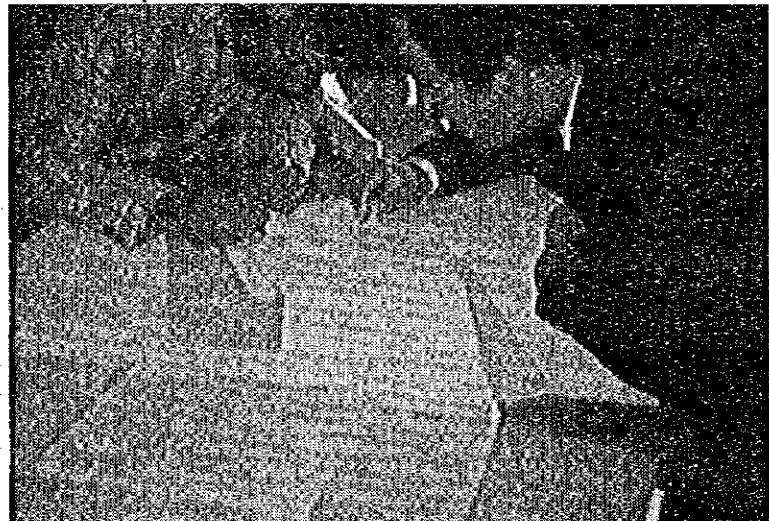
8. 補償測量

---

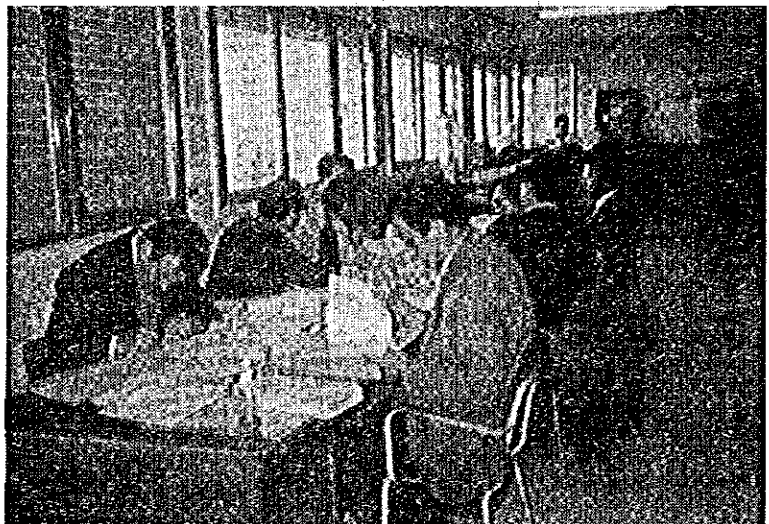
1) 図化素図の確認



2) 注記資料図の修正



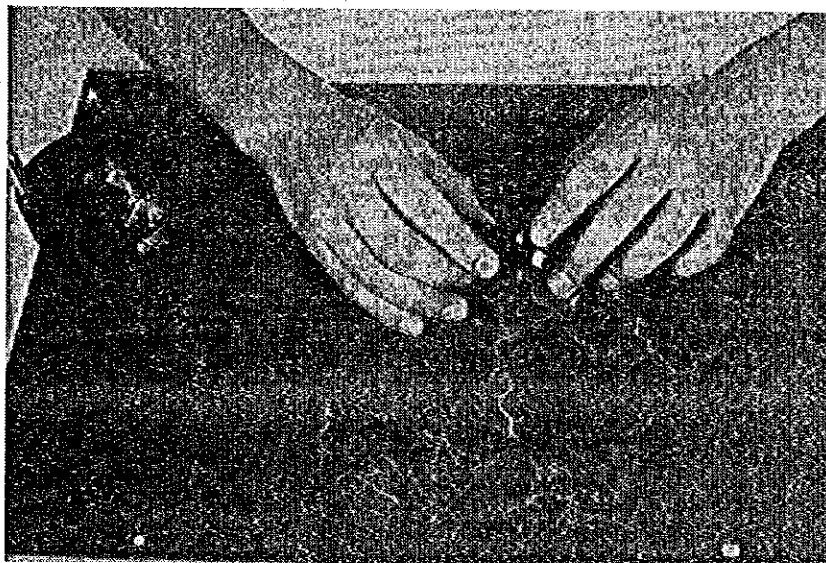
3) 整理





9. 製図

1) スクライブ作業



2) OTCカウンターパートによる製図点検



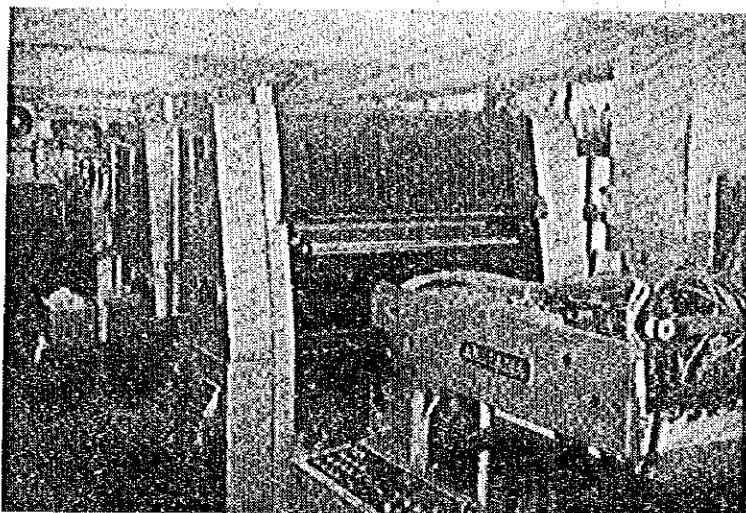
3) 製図検査



10. 地図の印刷

---

1) 地図の校正刷り



2) OCTカウンターパートによる  
校正刷りの点検



3) 印刷図の点検

